

平成26年度 全国学力・学習状況調査 ～糸魚川市の結果概要～

4月22日(火)に実施した全国学力・学習状況調査の糸魚川市における結果概要は、以下のとおりです。

1 教科に関する調査 全国との平均正答率の比較

【小学6年生】

教科	全国	糸魚川市
国語A	72.9	同程度
国語B	55.5	上回る
算数A	78.1	同程度
算数B	58.2	下回る

【中学3年生】

教科	全国	糸魚川市
国語A	79.4	同程度
国語B	51.0	下回る
数学A	67.4	下回る
数学B	59.8	同程度

【比較評価】

大きく上回る：+5以上
 上回る：+1以上+5未満
 同程度：-1以上+1未満
 下回る：-5以上-1未満
 大きく下回る：-5未満

(教科の「A」は、主として「知識」を問う問題、「B」は、主として「活用」を問う問題です。)

※本調査により測定できる学力は、特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 (成果や課題が顕著な主な項目)

【成果】

- 「朝食を毎日食べている」の割合が9割以上であり、全国や県と比べて高く、市が推進している「早寝・早起き・おいしい朝ごはん」運動の取組の成果が表れています。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」の割合が全国や県と比べて高く、郷土を愛する心が育っています。

【課題】

- ▶中学生の平日の家庭学習時間が全国に比べて少ない傾向にあります。
- ▶小学校では、「算数の勉強が好き」という割合が全国に比べて低い傾向にあります。
- ▶中学校では、「国語の勉強が好き」という割合が全国に比べて低い傾向にあります。

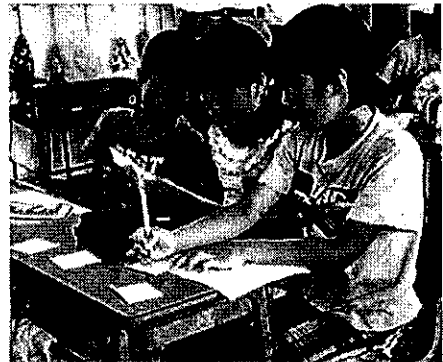
3 今後取り組むこと

【学校で】

- 日々の授業改善に向けた一層の取組
 - ▶自校の分析結果等を基に、児童生徒が「分かる」・「楽しい」授業づくりに一層取り組みます。
 - ▶「教え、考えさせる授業」の視点から校内で職員研修を行います。
- 家庭学習の取組への支援
 - ▶児童生徒の学力に応じた宿題を出し、宿題の点検や家庭学習に対する励ましを継続します。

【教育委員会へ】

- ▶学校訪問を通して、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりについて、具体的な指導を行い、教員の授業力向上を図ります。
- ▶授業改善に関連する情報を各校へ提供します。



学び合う授業の様子

4 家庭・地域の皆様へ

- ★「早寝・早起き・おいしい朝ごはん」運動を一層進めましょう。
- ★テレビを消したり、大人も読書したりするなどして、子どもが家庭学習に落ち着いて取り組める環境づくりをお願いします。
- ★メディアとの適切な関わり方や規則正しい生活リズムについて家庭や地域で話し合しましょう。

◎糸魚川市のホームページでも全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせしています。

◎平成26年度全国学力・学習状況調査の詳しい実施要領等については、文部科学省のホームページからご覧いただけます。 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/

問合せ先 糸魚川市教育委員会 児童教育課 ☎552-1511